

## 立科町当初予算

総額	77億3,024万円
一般会計	44億5,000万円
特別会計等（9会計）	32億8,024万円

立科町議会3月定例会において、平成30年度当初予算の総額77億3,024万円が可決されましたので、お知らせいたします。

平成30年度は、権現の湯大規模改修工事等（3億4,214万円）を実施することから、一般会計当初予算額が、44億5,000万円（前年度当初比+3億円、+7.2%）となりました。

特別会計（7会計）は、総額23億5,672万円（前年度当初比△2億6,164万円、△10.0%）、公営企業会計（2会計）は、総額9億2,352万円（前年度当初比+633万円、+0.7%）となりました。各会計の当初予算額等は、別表（8ページ）でご確認ください。

※文章、表及びグラフ等の金額及び比率等の数値は、端数調整を行っています。

## 平成30年度

## 一般会計当初予算の概要

## 歳入

町税は、固定資産税、軽自動車税及び町たばこ税の減により、8億2,726万円（前年度当初比△503万円）を見込みました。

主要財源である地方交付税は、国の予算が前年度比3,213億円の減となったことから、15億9千万円（前年度当初比△3,000万円）を見込みました。

財源不足を補てんする財政調整基金繰入金は、5億8,000万円（前年度当初比+2億9,500万円）を見込みました。

町が自主的に調達できる財源（自主財源）は、財政調整基金繰入金の増から、前年度当初比+17.9%となりました。

地方交付税等、国や県等に依存する財源（依存財源）は、前年度当初比△0.2%となりました。

## 歳出

歳出の目的別では、総務費が12億502万円（27.1%）と最も多く、続いて、民生費9億3,808万円（21.1%）、土木費5億6,555万円（12.7%）の順となりました。

歳出の性質別では、投資的経費が権現の湯大規模改修工事等により、6億2,819万円（前年度当初比+2億7,373万円）となりました。

町の借金返済費用である公債費は、2億6,029万円（前年度当初比△299万円、△1.1%）となりました。

歳出の目的別、性質別及び詳細内容は、別掲（6～9ページ）のとおりですので、ご確認ください。